GAMOU NORIAKI KENGIKAI NEWS

最近の実績について

①議会質問を通して、新たに事業化したこと。 (県ホームページから実現箇所抜粋)

- ☆令和4年度埼玉県当初予算案の概要(13ページ抜粋)
- Ⅲ 主要施策の概要~直面する危機からの脱却~ 新規事業「働き方改革等による多様な働き方の推進と多様な 人材の活躍支援」の「重度障害者や精神障害者を雇用する企 業の開拓及び超短時間雇用からのステップアップとテレワー ク活用による職場定着支援
- ☆令和4年度当初予算案における主要な施策(25ページ抜粋)
- 「(4)企業伴走型パッケージ雇用支援」
- ※超短時間の労働時間での雇用の推進が決まりました。まず障 がい者の方から進めていきますが、将来はもっと幅広く超短 時間雇用が実現できるようにしたいです。
- ⇒導いた質問

令和2年9月定例会 一般質問

「超短時間雇用で多様な雇用機会の創出を」について(概要)

. 蒲生徳明

「超短時間雇用」とは、週に15分や一時間からでも通常の職場で 役割を持って働くことのできる仕組み。雇う側では人手不足の解消 や業務効率の改善、障がい者雇用への理解が深まり、働く側では働 き方の多様性と選択肢が広がり、障がい者の就業機会の拡大にもつ ながる。

超短時間雇用は、本来、障がい者に限るものではなく、子育て中 や家族の介護が必要な世帯、高齢者、病気であっても障害認定を得 られないなど、長時間働くことが困難な人々でも、将来、環境が整 えば対象となるべき。

私は、埼玉県が超短時間雇用の先進県となり、個々の環境のハン デで思うように働けない人たちに新たな雇用機会を作るべきだと考 える。

A大野知事

デジタル化の進展や多様な働き方の普及により、働く場所や時間 の制約が取り払われ、週20時間未満であれば働ける方などの雇用 環境が急速に整ってきている。

議員御提案の「個々の環境のハンディで思う様に働けない人達に 新たな雇用機会の創出をはかる」絶好の機会であり、多くの方に超 短時間雇用を広めていくチャンスだと思う。

県では企業向けのセミナーや障害者雇用の提案の際に積極的に超 短時間雇用を紹介し、普及に努めていく。「新しい生活様式」の中 で働き方にも新しいスタイルが求められている。まずは障害者雇用 の分野から成功事例を積み重ね、超短時間雇用による多様な雇用機 会の創出を図っていく。

②草加市をはじめ県内自治体の自宅療養者支援を推進



令和 4 年 2 月 19 日

(草加市の自宅療養支援チームへ感謝の手紙が届いた記事)

※浅井草加市長より、保健所の進める自宅療養中の方への支援が、 逼迫しているため食糧支援、パルスオキシメーターの配備などが 遅れている。県だけに任せるだけではなく市として応援したい旨 の要望を頂きました。

自宅療養者の情報は個人情報になり保健所しか把握しておりま せんが、その後、草加市が音頭を取り近隣市の首長と一緒に県保 健医療部長を訪ね要望する機会の仲立ちをさせて頂きました。

又、私は、県保健医療部長ともこの件について調整すると共に、 公明党県議団としても要望を行い、希望する人、家族には手を挙 げてもらい、保健所からの対応を待つことなく県内の各自治体が 自らの判断で支援を行える様になりました。

新聞記事は、草加市の自宅療養者支援チームへの感謝の声が届 けられたものです。





令和3年9月3日4市首長の自宅療養者支援要望前に、浅井市長と 打合せ。後に保健医療部長と意見交換し要望内容実現への調整を行う。



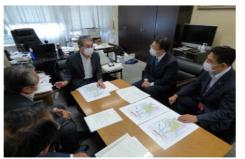
令和3年9月6日 公明党県議団は、新型コロナウイルスの感染急 拡大に伴う対策として「自治体と連携した生活支援」等を要望。

③昨年8月6日(仮称) 外環八潮スマートインターチェンジが、 準備段階調査箇所に採択されました。

八潮市はもとより、地元草加市民にとっても交通利便性の向上や、 地域経済の発展に大きな効果が期待できます。







昨年7月27日に国交省村山道路局長を訪問し、防災対応・渋滞緩和 のための横軸道路の整備と(仮称)外環八潮スマートインターチェン ジの事業化を大山市長、岡部議長、西田参議院議員と共に要望。

■埼玉県議会議員【草加市選出】

県議会ニュース

2022. 新年度号

草加市新里町 1422 番地 **☎** 048-929-2366

FAX048-822-9408 公明党埼玉県議団ホームページ

県政に関するご意見

ご要望をお寄せください。

TEL048-822-9606

www.komei-saitama.com

NORIAKI REPORT SAITAMA SOKA



南1区草加市 県議会議員

新年度(令和4年度)がスタートしました。 新たな決意で、県民・草加市民のために働いてまいります!

県民の皆さま、そして地元草加市民の皆さま。

日頃より私 蒲生 徳明の県政活動にご理解とご協力を賜り心より感謝を申し上げます。

中々終わりの見えないコロナ禍での取り組みと対策の推進、将来に向かう人口減少・超少子高齢社会への対応、 そこに伴う医療・介護の環境づくり、住環境問題、雇用、経済対策など私たちの未来には様々な課題が山積し ております。そして、今回のロシアのウクライナ侵攻に伴う様々な危機と環境の変化への対応。まさに今、時代 の大転換期と言える中、一人一人がどう行動していくのかが問われています。私自身、どこまでも、現場の県民 の皆様、草加市民の皆様の幸せを祈りながら、公明党の真骨頂である国、県、市町のネットワーク力を駆使して、 寄せられた声にすぐ対応することをモットーに、新たな年度も皆様と共に歩んでいく決意です。 皆様の尚一層のご指導ご鞭撻を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。

最近の主な活動から

コロナ対策

◆県民の声を直接お聞きして、国、県、市と連携を取り迅速 な対策を進めています。

※昨年は特に急速な感染拡大が進み、まだまだ収束が見えない状況 であります。コロナ対策については前年度以降の主な対応につい て遡ってご報告させて頂きます。

令和3年5月18日

◆「高齢者向けワクチン接種の加速化を求める緊急要望」 を知事に提出





8月24日

◆大野知事に「新型コロナウイ ルスの急速な感染拡大に関 する緊急要望」を行いました



【要望内容】

- ①外出抑制メッセージ
- ②重症病症を確保、トレーナー派遣等事業の活用
- ③酸素ステーションの設置、宿泊療養施設の臨時医療施設化
- ④抗体カクテル療法の外来や自宅で受ける体制の整備
- ⑤健康観察を行う「宿泊・自宅療養者支援センター」の強化
- ⑥夏休み期間の延長や学校再開の注意事項について県教育委員会 から通知を行う
- ⑦若い世代の接種率アップのためにも、県内4か所の大規模会場 の活用。妊婦への優先接種を推進
- ⇒<u>「妊婦への優先接種</u>」については、県要望と同時に市議団と連 <u>携を取り、すぐに浅井草加市長に提案。市長の判断で即時実行が</u> きまりました。

9月6日

◆新型コロナウイルスの感染 急拡大に伴う対策として 「自治体と連携した生活支 援 」等を要望。



02

議会活動・県議団活動

◆令和 4 年度所属常任委員会:文教委員会

(教育委員会に関する事項を審査)

◆ 令和 4 年度所属特別委員会: 少子·高齢福祉社会対策特別委員会

(少子・高齢社会、地域医療、障害 者並びにシニアを含めた人材活用に 関する総合的対策について審査)

令和4年1月5日

◆埼玉県・県議会合同新年会 で大野知事と



2月10日

◆大野知事より新年度予算案について事前報告

大野知事より、公明党県議団の令和4年度予算編成に対する要望 項目について予算化案の項目について事前報告がありました。





(2021年10月14日に知事への予算要望を行った:写真右)

GAMOU NORIAKI KENGIKAI NEWS GAMOU NORIAKI KENGIKAI NEWS

03

その他の活動について

1月17日

◆埼玉県生協連との意見交換





1月20日

◆草加商工会議所創立 30 周年記念式典で祝辞を述べさせて頂きました





2月2日

◆山口代表と懇談

ある青年の夢を叶えるために、 山口代表を訪問し懇談。

代表は、彼の思いを受け止めて下さり、後日お手紙も綴られました。正に、「小さな声を聞く力」公明党のモットーを代表自から実践される姿に感銘を受けました。



現場視察

2022年1月13日

◆埼玉県障がい者雇用総合サポートセンターを視察



1月14日

◆中川水循環センター:「汚泥消化・バイオガス発電システム」を視察

三郷市にある「埼玉県中川水循環センター」を視察。昨年11月に稼働を 開始した「汚泥消化システム」を調査。家庭や工場などから排出された下水 を処理し、綺麗な水にすると共に下水の中の汚れは汚泥として集められます。

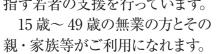




2月14日

◆「若者自立支援センター埼玉」を視察

「若者自立支援センター埼玉」は、かわぐち若者サポートステーションと併設し、多様な支援コンテンツを提供。職業的自立を目指す若者の支援を行っています。





3月6日

◆「草加子育て応援 フードパントリー **ひろっぱ**」を団視察

一人親家庭の皆様等に食料品を無料で配布し、子育て支援を行う「草加子育て応援フードパントリー ひろっぱ」を視察。林明美代表、草加市の担当職員の方と配布現場を視察しながら、支援の在り方について意見交換。浅井市長も駆けつけてくださいました。



3月23日

◆中高大学生のための無料セミナー

「目標を達成できる仕組みを作り実践しよう!」を見学。

新田西文化センターで昼食をはさんで行われた、「中高大学生のための無料セミナー」を見学させていただきました。 論理的思考力の理解や、自己分析目標設定ワークなど実践的なカリキュラムが組まれていて若者にとって大変有意義なセミナーだと感じました。 更に若者に光を当てた県政策が望まれます。





3月27日

◆リニューアルした「芭蕉庵」を訪問

浅井草加市長、井出議長、 広田副議長とこの度リニュー アルオープンした芭蕉庵を訪 問。

県民市民の訪れる観光拠点 としてのにぎわいが期待され ています。



3月28日

◆「トイレトレーラー」を視察(越谷市)

越谷市で導入された埼玉県初となる「トイレトレーラー」を視察。 災害時に避難されている方の衛生面、健康面に有効であり、今後 県内での更なる導入が求められます。





4月6日

◆「埼玉県運転免許センター」を視察しました。

高齢者講習の長期受講待ち解消対策、高齢者講習、認知機能検査 等について調査するために「埼玉県運転免許センター」を視察しま した。





05

令和4年度埼玉県当初予算について 〜新たな 150 年に向けた挑戦〜

令和4年度埼玉県一般会計当初予算の概要(彩の国だよりから一部転載) 一般会計当予算額 2 兆 2,284 億 5,900 万円(前年度比 5.1%増)

当初予算のポイント

- ●予算規模は昨年度に引き続き2兆円を突破し、過去最大を更新
- ●新型コロナウイルス感染症対策に1,880 億円(前年度比約7割増)を計上
- ●投資的経費は過去 10 年で最大の 1,822 億円を計上し、公共事業費も 1,000 億円超を確保

直面する危機からの脱却

- ■新型コロナウイルス感染症の拡大防止
- ●医療提供体制等の確保(感染症対策課)
- ②ワクチン接種の推進保(健医療政策課)
- ❸福祉施設における感染拡大防止対策(高齢者福祉課、少子政策課)
- 2社会全体のDXの推進とウィズコロナ下での経済回復・成長
- ●デジタル人材の育成・確保支援(産業人材育成課、雇用労働課)
- ②ウィズコロナ下での経済回復・成長 (金融課、産業支援課)
- ❸行政手続等のデジタル化の推進(住宅課、入札審査課、出納総務課)

日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現

1 安心安全の追及

- ●埼玉版流域治水対策の推進(河川砂防課)
- 2ヤングケアラー支援体制の整備(地域包括ケア課)

2誰もが輝く社会

- ●多様なニーズに対応した教育の推進(ICT 教育推進課、生徒指導課)
- ②LGBTQへの支援(人権・男女共同参画課)

3持続可能な成長

- ●埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進エネルギー
 - (環境課、市街地整備課)
- ②県内中小企業への技術開発などの支援 (先端産業課、温暖化対策課)

NA

前進した地域整備箇所

1. 県道の整備推進について①柳島工区②瀬崎工区

これまで何度も議会質問と要望活動を行い、進めてきました地元地域の県道整備推進状況について図面にてご報告させて頂きます。

①柳島工区(2022.4)





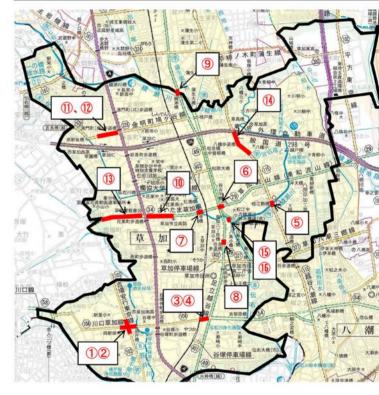
②瀬崎工区 (2022.4)



(3)

2. 令和 4 年度当初予算:草加市箇所図(県土整備部関係)

草加市 令和4年度当初予算箇所図



3. 南浦和越谷線整備

(4号バイパスにつながる380メートルの道を県が施工することが決定)

都市計画道路南浦和越谷線(川口市境~国道4号)位置図

